



旭中通信

練馬区立旭丘中学校

学校通信 1月号

令和5年1月10日発行

夢に向かって突き進もう！

校長 渡邊 重幸

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、清祥なる新年を迎えられたことと拝察いたします。謹んでお慶び申し上げます。

今年も「できた。」「わかった。」という喜びや、友達と仲良く助け合うことや生き活きと活動することのできる、そんな笑顔あふれる学校を目指して、全力で取り組んで参ります。本年もよろしくお願いいたします。



さて、12月20日（火）に子供を笑顔にするプロジェクトとして、東京2020オリンピック大会 ハンドボール日本代表（元主将）の土井レミイ杏利選手をお迎えしました。このプロジェクトは、都内の学校向けに、「見る・聞く・触れる」など様々な体験を通じて子供たちが笑顔を取り戻すきっかけとなるようにという目的で事業化されました。

コロナ禍ということもあり、3校時：3A・1B・D組、4校時：2A・1Aと2回に分けて実施しました。映像によるプロフィール紹介を行い、すぐに実技講習会となりました。パスの種類も大変多く、自分の体の後ろを通して投げるフックパスは、体を死角にして投げるため、相手から一瞬ボールを見失わせ意表を突くことができます。ラテラルパスは肩を使わず腕と手首のスナップでボールを投げるパスで、相手が予想しづらいパスです。また、シュートは6mラインよりも外側からシュートをしなければいけないというルールですが、土井選手が実際にジャンプしてシュートした際は、ほぼゴールの目の前でした。代表生徒も初めての体験に戸惑いながらも楽しそうに実践していました。

その後の講演では、「私は練習に対して努力したことがない。だって、いつも楽しかったから。目標を立てることで、生きる意味を与えてくれる。中学・高校の時に頑張れる人は、他の人と差が出る。何か夢中になれるものや夢を見つけてほしい。その夢に向かって頑張してほしい。突き進んでほしい。」とご自身の経験を踏まえて語っていただきました。また、「所属しているシークスター東京を優勝させることが、今の自分の夢だ」ともおっしゃっていました。



＊国際理解教育の実践

13日に5名の留学生（韓国・中国・モンゴル・ウズベキスタン・マレーシア）の方が先生となり、全学年にわかれて多様な文化の生活や価値観について教えていただきました。



<行事のお知らせ>

【スキー移動教室】

- ・日 程 1月11日（水）～13（金）
- ・対 象 第2学年
- ・宿泊地 ベルデ武石
- ・実習地 番所ヶ原スキー場（長野県上田市）



【連合ダンス発表会】

- ・日 程 1月24日（火）
- ・対 象 第2学年
- ・場 所 練馬区立光が丘体育館
- ※A・Bブロックは9：45～12：10

【青少年育成桜台地区かるた会】

3年ぶりに実施します。生徒は冬休み中に40首覚えてきました。白熱する競技を期待しています。

- ・日 程 1月20日（金）
- ・対 象 第1・2学年、D組
- ・場 所 本校体育館
- ・競技方法



- ◇1チーム2～3名で構成する。
- ◇覚えてきた40首を並べる。
- ◇勝った場合2点、引き分けは1点、負けた場合は0点とし、別なチームと3回戦行い、合計得点で競い合う。

【ゴールボール教室】

昨年度はコロナ禍で、リモートでの講演会となりました。今年度は、講演および実技体験を実施する予定です。

- 1 日 時 1月26日（木）13：30～15：20
- 2 対 象 第1・2学年
- 3 会 場 本校 体育館
- 4 講 師 若杉 遥先生（元ゴールボール日本代表）
- 5 講師紹介

- ・2012年ロンドンパラリンピック「ゴールボール」金メダリスト
- ・2021年東京パラリンピック「ゴールボール」銅メダリスト



(昨年度の様子)

写真提供/ALSOK 承諾